



の3校を統合して新たな高校を新設したい。
また、毎年、県外の私立中高一貫校へ一定数の生徒が

進学していることを踏まえ、中讃地域に県立中高一貫校を設置するための準備を進めたい。



「ドクターへりの導入について」 導入検討委員会を設置、今年度内に結論

質問：ドクターへりは1999年に国のモデル事業として試験運行が開始され、その後本格的な運用が始まった。

昨年9月時点で全国43府県で53機が導入され、出動実績も約3万件に上るなど地域の救急医療を支える上でなくてはならない医療資源となりつつある。

南海トラフ地震など大規模災害時の対応力強化の観点からも、その導入について具体的な検討が急がれるが、今後どう取り組むのか。

答：（知事）ドクターへり導入は、救命率の向上や後遺症の軽減など大きな効果が期待される一方、運航費用などの経費負担や医師、看

護師の確保などの課題もある。現在、「ドクターへり導入検討委員会」を設置し、具体的な検討を進めている。今後、導入効果や費用また運航体制の確保などについて、より詳細な検討を行い、今年度内にドクターへりの導入について結論を得たい。

さぬき浜街道の整備について

高松・坂出間で本格的に事業着手

質問：さぬき浜街道は、瀬戸大橋のアクセス道路として、そして本県の広域幹線道路網の一環としても重要な道路である。

高松市内から三豊市詫間までの41Kmが4車線で計画されているが、一部では



まだ4車線化されていない。

特に高松・坂出間は無料化以降、交通量が増加し、渋滞の発生もみられ、早期の4車線化が望まれる。

答：（知事）さぬき浜街道の整備を行っているが、一部では

に伴い、一層の渋滞の発生などの懸念がある。現在2度の事業完了を目指している。

保育士の人材確保と 保育の質の向上について

代替保育士や幼児教育スーパーバイザーを派遣

質問：本年10月から幼児教育の無償化が始まり、子育て世帯の経済的負担の軽減が図られた。一方、保育需要が拡大し待機児童の増加や保育の質の確保が懸念される。保育士の人材確保及び保育の質の確保・向上にどう取り組むのか。

答：（知事）増大する保育の需要に見合った保育人材の

確保のため、保育士人材バンクによる就職・復職支援、保育学生に対する保育士就学資金の貸付け等に取り組んできた。

また、賃金改善やりーダー職員への加算などの処遇改善や業務の軽減のため支援員の配置などによる職員の定着を図っている。

今年度からは、代替保育士を派遣する事業や幼児教

育に関する豊富な知識や経験を有する「幼児教育スーパーバイザー」を派遣し施設等への助言を行う事業を始めている。

